



2024年10月6日
10月第一主日礼拝式／聖餐式
＜教団創立記念日／献身者デー＞

「さあ賛美しよう」

(詩篇18:46)

さあ賛美しよう 救い主イエスに

さあ賛美しよう 救い主イエスに

ホザナ たたえよう

賛美しよう 救いの岩

ホザナ たたえよう

賛美しよう 救いの岩に

「主は御座(みざ)におられる」

(黙示録7:10)

主はみ座におられる 聖なるお方
イエスの愛を受けて 賛美をささげよう

主のりんざいの中で 大いなる勝利を
ほふられた小羊に 心からさげぼう

主にハレルヤ ハレルヤ ハレルヤ

主にハレルヤ ハレルヤ ハレルヤ

【次】

「主は御座(みざ)におられる」

(黙示録7:10)

主の聖なるみやに 今われらは行こう
聖徒(せいと)らとともに主の
御前(みまえ)であがめよう

主にハレルヤ ハレルヤ ハレルヤ
主にハレルヤ ハレルヤ ハレルヤ

新聖歌395番 「主はガリラヤ湖の」

- 1 主はガリラヤ湖の 漁師に告げぬ
「網(あみ)を捨ておきて われに従え」
また主は疲れし 世人(よびと)に告げぬ
「罪を振(ふ)り捨てて われに従え」
- 2 けわしき深山(みやま)の 谷間に呼べる
羊飼いの声 友よ聞かずや
「わが羊よなぜ かくさ迷える
汝(な)が守り手なる われに従え」

【次】

新聖歌395番 「主はガリラヤ湖の」

- 3 「罪の世(よ)にありて 罪に汚れず
うれいを慰め 疲れをいやし
汝(な)がそばにありて つねに勝(か)たしむ
いのちの道なる われに従え」
- 4 「わが跡(あと)を踏みて 右や左に
迷い行くなかれ 道(みち)狭(せま)くとも
十字架をにない 天(あめ)を望みて
常世(とこよ)の朝まで われに従え」

アーメン

使徒信条(しとしんじょう)

われは天地の造り主、全能の父なる神を信ず。
われはそのひとり子、われらの主、イエス・キリストを信ず。
主は聖霊によりて宿(やど)り、処女(おとめ)マリヤより生まれ、
ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、
十字架につけられ、死にて葬られ、陰府(よみ)にくだり、
三日目に死人のうちよりよみがえり、
天に昇り、全能の父なる神の右に座(ざ)したまえり。
かしこより来たりて生ける者と死にたる者とをさばきたまわん。
われは聖霊を信ず。
聖なる公同の教会、聖徒の交わり、
罪の赦し、身体(からだ)のよみがえり、
永遠(とこしえ)のいのちを信ず。

アーメン

新聖歌46番 「わが主よ 今ここにて」

- 1 わが主よ 今ここにて 親しく見^(まみ)えまつり
限りなき幸いを 受くるこそ うれしけれ
- 2 恵みの足^(た)れる時よ いのちの充^(み)てるおりよ
今しばし 留^(とど)まれや 主と共に われ過ごさん
- 3 ここには贖^(あがな)いあり ここには慰めあり
わが汚れ きよめられ み力は満ちあふる
- 4 面影^(おもかげ)うつししのぶ 今日だに かくもあるを
みくににて祝う日の その幸^(さち)や いかにあらん
アーメン

新聖歌398番 「新しき地に」

1 新しき地に 踏(ふ)み出(い)だす

心にそなえ ありや見よ

* ヨシュアのごとく われも言わん

「わが家(や)とわれは 主に仕(つか)えん」

2 試(こころ)みしげく ありと聞く

恐るる心 無(な)きや見よ * (くりかえし)

3 むらがる仇(あた)も 何かあらん

先だつ君(きみ)は イエスなれば * (くりかえし)

4 取るべきところ なお多し 心強くし かつ勇(いさ)め

* (くりかえし)

アーメン

主の祈り

天にまします われらの父よ。

ねがわくは 御名をあがめさせたまえ。

御国(みくに)を来たらせたまえ。

御心(みこころ)の天になるごとく、地にもなさせたまえ。

われらのにちようの糧(かて)を今日も与えたまえ。

われらに罪をおかす者を、われらがゆるすごとく、

われらの罪をもゆるしたまえ。

われらをこころみにあわせず、悪より救いだしたまえ。

国(くに)と力(ちから)と栄え(さかえ)とは、

限りなく 汝(なんじ)のものなればなり。

アーメン

新聖歌60番 「天地(あめつち)こぞりて」

あめつち こぞりて

かしこみたたえよ

みめぐみ あふるる

父 御子(みこ) 御霊(みたま)を

アーメン